

新しい救急医療システムの幕開け

ドクターヘリ

2008年1月 運航開始

救命救急センターも同時オープン



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院

新しい救急医療システム 「ドクターヘリ」運航開始

平成20年1月28日、公立大学法人福島県立医科大学附属病院において、救命救急センターの開所とあわせて、東北地方で初めてのドクターヘリが運航を開始しました。

ドクターヘリにより、救命率の向上や後遺症の軽減が図られ、県民の安全・安心な暮らしの実現につながります。

ドクターヘリについて知っていただき、安全かつ円滑な運航にご協力をお願いします。

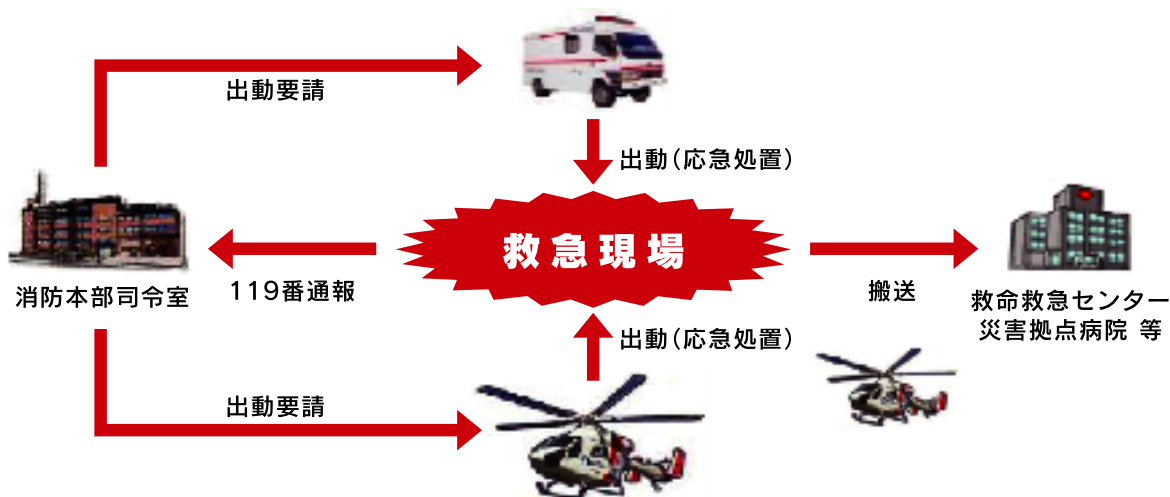
ドクターヘリの効果

救急現場において治療を開始できる

治療開始時間の短縮

救命率の向上・後遺症の軽減
県内全域の救急医療の充実

ドクターヘリの出動の流れ



ドクターヘリとは

救急専用の医療機器を装備し、救急医療の専門医、看護師が搭乗して救命医療を行う専用ヘリコプターです。

ドクターヘリは、救命救急センターがある福島県立医科大学附属病院に常駐し、消防機関からの出動要請に基づき、救急現場等に駆けつけ、患者に初期治療を行い、高度な医療機関に搬送します。

ドクターヘリの内部の様子

ドクターヘリの機内には、人工呼吸器、患者監視モニター、除細動器、超音波診断装置等の救急治療に必要な医療機器や薬品が搭載されています。



ドクターヘリQ&A

～ドクターヘリについて知ってください～

Q1 ドクターヘリの運航時間は どうなっているのですか？

原則として、午前8時30分から午後5時まで、土日も含めて毎日運航します。

ただし、日没や悪天候等の視界不良時は運航を休止することがあります。

Q2 ドクターヘリの要請は だれでもできるのですか？

出動要請は、一般の県民の皆様から行うことはできません。119番通報を受けた消防機関が患者の重症度等を判断して要請を行うことになります。

Q3 ドクターヘリには患者のほかに だれが乗るのですか？

操縦スタッフ2名、医療スタッフ2名が必ず搭乗します。患者さんは最大2名まで、付添いの方はどうしても必要な場合のみ1名まで乗ることができます。

Q4 ドクターヘリを利用した場合、 費用はかかりますか？

ドクターヘリの搬送自体の費用はかかりませんが、救急現場やドクターヘリの中で行った医療費については、医療保険制度に基づき請求されます。

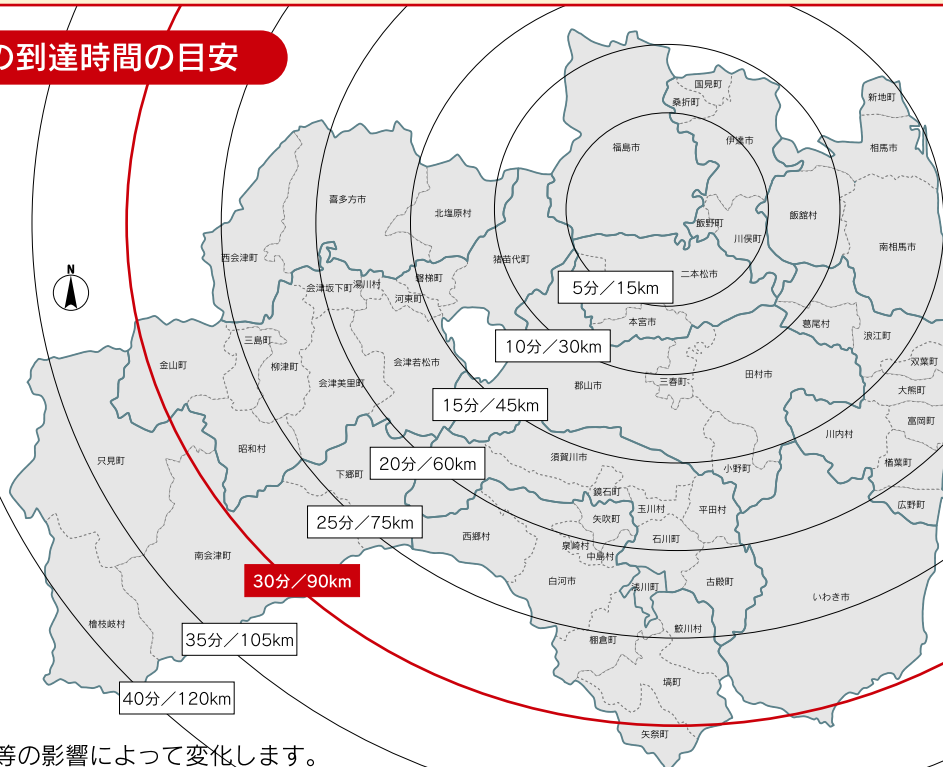
Q5 ドクターヘリは どこに着陸するのですか。

ドクターヘリは、原則として、あらかじめ設定した離着陸場所(公園、運動場、学校の校庭等)に消防機関の誘導により着陸します。

Q6 ドクターヘリの場合 どこの病院に搬送されるのですか。

搬送先医療機関は救命救急センターや災害拠点病院等の中から、ドクターヘリの搭乗医師が、患者さんの容体や搬送時間を考慮して決定します。

ドクターヘリの到達時間の目安



安全な運航のための 県民の皆様へのお願い

- ヘリが着陸する場所から待避してください。
- 着陸後は救命治療を行いますので、近寄らないでください。
- 離着陸の際はヘリの風圧や騒音が発生します。吹き飛ばされやすいものは室内にしまって、窓を閉めてください。

救命救急センターも同時に開設。

救命救急センターとは

脳卒中や急性心筋梗塞、重症外傷等の重篤な救急患者を24時間体制で受け入れ、専門の医師により集中治療室(ICU)等の専用病室において高度な診療を行います。

県内には、福島県立医科大学附属病院も含めて4カ所の救命救急センターがあります。



福島県立医科大学附属病院の救命救急センター

福島県立医科大学附属病院には集中治療室(ICU)や心臓病専用病室(CCU)等の専用病室が20床設置されています。

県北地域、さらにはドクターヘリで搬送される患者も含めて、県内全域を対象に高度な救急医療を提供します。



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院

〒960-1247 福島県福島市光が丘1番地 電話:024-547-1821(病院経営グループ)